

2018 年度平和カンパのご報告

パレスチナ・ガザ地区 ナワール児童館の活動

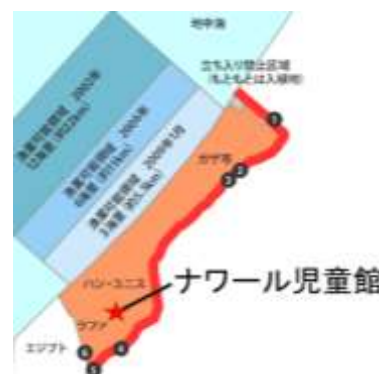
特定非営利活動法人

パレスチナ子どものキャンペーン



ガザ地区の現状

約 200 万人の人が暮らすガザ地区では、10 年以上、人や物資の出入りが厳しく制限されています。2008 年～2014 年の間には 3 回のイスラエルによる大規模軍事攻撃がありましたが、現在もイスラエル軍からの空爆は断続的に行われており、人々は不安な中での生活を強いられています。



パレスチナ内部での政治的な分裂と和解の停滞、米国から国連への拠出金の大幅削減に代表されるような国際的な支援の減少や現地公務員への給与の遅配、54%に上る高い失業率（若者は 70%、女性は 78%）など、生活水準は悪化し続け、人々は将来への希望を失っています。2018 年 3 月から続くイスラエルとの境界付近（地図の赤い部分）でのデモ行進では、イスラエル軍との衝突によって累計 20,000 人以上が負傷しています。

社会の混乱や生活の困窮、とまらない暴力の連鎖は子どもたちの心理状態、学習環境、そして健康な成長に大きく影を落としています。先の見えない現状を生きるガザの母親と子どもたちが少しでも安心して暮らすことができるよう、息の長い支援が必要とされています。

子どもと母親の居場所・ナワール児童館での活動



ナワール児童館は、ガザ南部の貧困地域において、子どもや母親たちが安心できる居場所となっています。心理的な安定、学力の向上、表現力やリーダーシップ獲得による自信の回復など、子ども達の成長に大きく貢献しています。母親たちのネットワーク作りにも役立っており、日ごろのストレスを軽減できる場所となっています。

★子ども向けの活動

- ・週5日、午前と午後2交代で、300人の小学生が来館。
- ・レクリエーション、工作、音楽、演劇、伝統舞踊、物語作り、図書館活動、コンピュータ、遠足、季節のイベント、スポーツ、補習授業、絵画、映画鑑賞、子ども議会など、遊び・学習・文化活動の機会を提供。こうした活動は情操教育の補完、子どもたちの心理的健康に寄与しています。



- ・子どもたちの主体性を大切にし、活動の計画や実施を子どもたち中心に進めました。
- ・活動を通して出来上がった作品の展示会をひらき、家族や地域の人に見てもらう機会を作りました。
- ・公立小学校と連携して、児童の主体性や学習意欲を向上させる参加型学習の経験を学校の教員と共有しました。子どもたちが生きた知識を学べるようさらに工夫を重ねています。

★母親向けの活動



- ・母親たちも週1日程度来館し、ワークショップに参加しています。グループワークで母親たちが関心のあるテーマについて話し合い、母親同士の交流やストレス発散ができるセルフケアの場を作っています。必要に応じて心理士やソーシャルワーカーが個別相談の時間をとり、手厚くケアをしています。

- ・母親向けの様々な活動。心理劇ワークショップでは、自分の感情を表現するだけでなく、他の母親の経験を通して問題の対処法を学ぶこともできています。
- ・母親が子どもと一緒に学習活動に参加したり、教育玩具を作ったりすることで、子どもの学習をサポートすると同時に、母親の知識も向上しエンパワメントにつながります。

ご支援に感謝いたします

パルシステム東京からいただいた平和カンパは、画材、教育玩具、楽器、書籍、学習教材、スポーツ用品、演劇の道具や衣装、工作などの材料、おやつ、母親ワークショップの講師への謝金、遠足費用、児童館の水光熱費、通信費、地域活動の交通費、現地スタッフの給与などに活用させていただきました。

ご支援に心から感謝申し上げます。将来パレスチナの社会を担う子どもたちの可能性を育み、厳しさが増す状況下で子育てに奮闘する母親たちの拠り所となっているナワール児童館を継続的に支えて頂きますようお願いいたします。